

# さなぎ達通信

平成 28 年 12 月  
VOL.39

認定特定非営利活動法人 (NPO 法人) さなぎ達

〒231-0028 神奈川県横浜市中区鶴町 1-6-4 新鶴ビル 1 階 (最寄駅 JR 関内駅)

TEL/FAX : 045-228-1055 (事務局) TEL/FAX : 045-227-7663 (さなぎの家)

E-mail:sanagitachi@nifty.com HP : <http://www.sanagitachi.com/>



## 巻頭言

私たちに力はあるのだろうか？

さなぎ達理事長 山中 修

今から13年前の2003年11月22日、横浜インターナショナルスクールの講堂をお借りして、「立ち止まって、知って、向かい合って」と題したシンポジウムをさなぎ達が開催した。

参加者は200人限定とし、満席だった。

シンポジストはさなぎ達からは当時の理事長櫻井武磨が、他に全国の活動家（あいりん地区、山谷、新宿、ロシア、WFP）に加えて、山崎洋子氏や朴慶南氏、心臓外科医の南淵明宏氏、バレエ指導者の木村公香氏などホームレス問題と無関係な人達もコメンテーターとしてご参加いただいた。

2000年に創立のNPOとして3年目。1年目には寿でコンサート、2年目は県立ドームシアターでさなぎフェスタと大々的にアドバルーンをあげた翌年。

「落ち着いて、我々の活動方針を見直そう」と、ホームレス問題をみなさんに問いかけつつ、問題の本質を診断し、治療方法の策定をした集会であった。

主催者代表の閉会のご挨拶として、お招きした多数の行政の人達へ「行政との二人三脚」を約束した。

あれから、食堂、ポーラのクリニック、就労支援事業所を開き、さなぎの家では「SOS斑活動（横浜市と協働による相談事業）」が継続されている。

先日、この通信発行のため、山崎洋子さんと横浜市役所援護対策課と中区区役所生活支援課を取材訪問した。

国による法制定を受けて、役所の人達も全国で路上生活者への支援を行っているが、横浜市や中区の役人さんたちも実は法制定以前から路上パトロールを定期的に施行し、路上のひとりひとりの問題点や性格まで把握、地道な向き合い方をしている。

横浜市は開港から歴史的にもオープンで、他県からの流入者でも短期間で「ハマッコ」みたいな顔して生きられる街。

排除の論理が少ないことを誇りにしている街。

世界陸上が開催された大阪ではホームレス排除が問題となったが、サッカーワールドカップの横浜では、長い時間をかけて役所の人達がブルーシートを住み処とする人達との関係をつくって施設収容へとつないだ。その延長が現在の施設「はまかぜ」である。

さなぎ達の提案した「立ち止まって、知って、向かい合って」の方針が役所との相互理解を進めて現在の協働事業につながっている。

その後、寿に流入してくる人達の背景が大きく変わってきている。

団塊世代のかつての労働者が高齢化、急速に人口減少しているのを補うかのように、障がい者や刑期満了者が急増している。

我々の組織も急な変化に対応できるように脱皮していかなければならないが……。そんな力があるだろうか？

ぜひともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとって来年が健康で、よい一年でありますように。

理事長も触れていますが、さなぎ達を見守ってくださっている作家の山崎洋子さんにさなぎ達の歴史とこれからについて寄稿していただきました。私たちの活動を理解していただく一助としていただければ幸いです。

## 襲撃から始まった ー強制せず根気よく

山崎 洋子

横浜でホームレス状態にある人たちへの襲撃事件が起きたのは1982年から83年にかけてのことだった。中学生を含む少年達が山下公園などでホームレスを襲い、殺傷したのだ。横浜に住んでいながら住人としてカウントされず、存在すら忘れられた人達がいるという事実をこの事件で知り、衝撃を受けた人も少なくないだろう。

キリスト教会の活動でホームレス支援をしていた櫻井武磨さんは、その翌年から「夜回り」を始めた。これが後の木曜パトロールとなり、ひいてはNPO法人さなぎ達の設立へと繋がっていく。

寿地区という簡易宿泊所街を擁する横浜市では、早くからホームレスの生活援助、自立支援が模索されてきた。1974年からパン券という法外援助の食券が支給されていたし（現在は廃止）、1994年には緊急一時宿泊所として「まつかぜ宿泊所」も開設された。そして2002年、国によるホームレス自立支援法が定められ、ただの生活援護ではなく、自立を支援するという方向へ舵が切られた。

寿地区の人達を主に診療する「ポーラのクリニック」が開業したのは2004年。「その頃はまだ、行政と市民活動の連携がほとんどなかったですね。労働組合の活動

をしている人達が、行政と対立するかたちで越冬闘争などを行っていました。でも、行政でないとできないこともある。逆にNPOだからこそできることもある。両者が協働してこそ、もっときめ細かな自立支援ができるはず……と、思い続けてきました」

そう語るのはクリニックの山中修院長。認定NPO法人さなぎ達の理事長でもある。

「さなぎ達」が運営する「さなぎの家」は、ホームレスがくつろぎ、少しでも他者とコミュニケーションがとれるようにと願って開設されたものだ。2005年、ここを窓口として、行政との協働で「寿町なんでもSOS事業」が始まった。

心身に障害を持つ人、路上生活が習い性になってしまった高齢者、人間関係がうまく構築できず、居場所をなくした若者……ホームレスになった人達の背景はひとりひとり異なる。その経緯や自分のニーズを、

他者にきちんと伝えるすべを持たない人も多い。

一年365日、彼らのためにドアを開いている「さなぎの家」は、彼らの事情を、急がずあわてず強制せず、根気よく受け止め、行政のサービスに繋げていく。

桜井さんに、「さなぎ達」の創立者としての夢を尋ねたことがある。「100人のうち、一人でも自立の道へと送り出すこと」という答えが返ってきた。ずいぶん控えめじゃないか、と思われるかもしれないが、彼は30年以上もホームレス支援を続けてきた。その人の言葉には真実の重みがある。

哀しいことに、戦争難民の受け入れ拒否、障害者殺傷、原発避難民など、社会的弱者に対する差別・抑圧は、減らないどころか増えている。「さなぎ達」はまだ、活動を辞めるわけにはいかないのだ。

## てふてふ便り

### 文化祭のご報告

こんにちは。今回は、てふてふのプログラムについて紹介します。11月3日は国民の祝日である文化の日です。それに合わせ



職員・蒔田宏子

て、昨年から文化祭を行っています。利用者、職員ひとりひとりが個人作品を、利用者を2つに分けたAチーム、Bチーム、職員のCチームがグループ作品を制作し、全19点の作品が提出されました。

今回はボランティアの押野さんの娘さん(10歳)が描いてくれたハロウィンの絵も展示され、とても豪華な作品展になりました。Aチームは手作りのカレンダーを制作。Bチームは葛飾

北斎の富嶽百景「赤富士」を切り絵細工で制作。チーム毎に何を作るか話し合い、必要な材料をみんなで買い物に行き、真剣な表情で作品作りに取り組みました。Aチームは赤で書くはずの日曜日の日付を黒マジックで書いてしまったり、Bチームは細かく切った折り紙を、眉間にしわを寄せながら楊枝で貼り付けるなど苦心しましたが、個性的で見事な作品になりました。

利用者にははっぱをかけながら、職員のCチームはなかなかアイデアが浮かばず、完成したのは締め切りギリギリ。昨年は風刺が効いた手作りの「てふてふカルタ」でした

が、今年は「ひとりひとりが主役です～みんなの良い所を見つけました～」と、利用者全員の良い所をてふてふ(蝶々)の形の紙に書いたものを、模造紙にダイナミックに貼りつけた作品でした。

個人作品も水彩画、塗り絵、工作等バラエティーに富み、昨年に比べグレードアップし見ごたえのあるものになりました。25日には作品発表会を行い、作品を鑑賞しながら感想を述べ合い和やかに懇談しました。来年のことを言うのはまだ早いですが、今から構想を練れば直前に慌てなくて良いかもしれません!?(つづく)



### 【さなぎ達利用状況】2016年8月～11月

	8月	9月	10月	11月
さなぎの家 利用者総数(人)	1255	1298	1511	1513
物品配布数	948	955	1179	1247
木曜パトロール野宿者平均数(人)	休み	68	80	65
さなぎの食堂 食数(食)	7217	6924	6600	6810
さなぎの食堂 食数(食)	7217	6924	6600	6810

- ・ さなぎの食堂は9月最終週より、毎週日曜日と定休日となりました
- ・ 木曜パトロールは例年通り8月休み

**ありがとうございます**

**寄付くださった法人・団体【順不同】 2016年8月～2016年11月**

会田クリニック、セイメイ内科、株式会社いづもや、井上法律事務所、有限会社えこふあーむ、株式会社 ハッタ、カーム・シー・サービス有限会社、カトリック二俣川教会、松井内科医院、松本医院、ちよっとBARごつつあん、嵯峨野株式会社、西蓮寺、浄徳寺、鈴木整形外科、パブリックリソース財団、ファンケル発芽玄米株式会社、古荘セントラルクリニック、株式会社 丸舗建設、やよい台クリニック、山手カトリック教会、遊林寺、横浜国際バプテスト教会、横浜山手聖公会、横浜聖アンデレ教会、和田外科医院、渡辺こどもクリニック、(株) ケーズ、(株) FANCL、ナット&カンパニー、日本ヴェーダンタ協会、カトリック金沢文庫教会、藤沢聖マルコ教会、カトリック逗子教会、カトリック鍛冶ヶ谷教会、カトリック百合ヶ丘教会、ファイバーリサイクル泉谷 等

▽寄付金を頂いた企業・団体・・・27団体、36件 (寄贈品も含む)

▽寄贈品のみ頂いた企業・団体・・・18団体

▽個人寄付(お金) 72件(65名)

#### **【さなぎ達年末年始の運営について】**

- ・ さなぎの家 : 通常運営 (9時から17時 予定)
- ・ さなぎの食堂 : 2016年12月30日～2017年1月3日まで休み (1月4日より通常営業)
- ・ てふてふ : 2016年12月29日～2017年1月3日まで休み (1月4日より通常運営)
- ・ さなぎ達事務局 予定 : 2016年12月29日～2017年1月3日まで休み (\*年度末の状況により前後するかもしれません)
- ・ 木曜パトロール : 2016年12月29日休み \*年明け : 2017年1月5日より開始

★12月29日～1月3日までの問合せはメールのみとさせていただきます。

# NPO 法人さなぎ達 ご寄付・ご寄贈品情報

**会員** 会員の有効期間は1年間です。ご入会・ご継続、随時受付しています。

※会費は税金控除の対象外です。

会員口座 00200-2-69980 会員の入会及び継続の会費専用口座 [口座名：(特非) さなぎ達]

1. 正会員：さなぎ達の趣旨に賛同し財政的に支える個人・団体：年会費：5000円(1口)
2. サポーター：さなぎ達の運営を資金的に賛助する個人・団体：年会費1000円(1口)

**物資の寄贈** お持込も大歓迎！募集物資は変動致します。保管場所に限りがあるため、事前にお問い合わせ下さい。

**【さなぎの食堂】：お米（平成27年度産以降のお米）、野菜 大募集中！！**

**【さなぎの家】：冬物男性衣類（防寒着）、毛布（少量）**

**【問い合わせ】045-227-7663（さなぎの家） \*なお、着払い不可**

**\*時期により衣類・生活用品、お米の受入状況は変動いたします。詳しくは、お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。**

**ご寄付** 該当する郵便振替をご利用下さい

1. **活動資金口座 00260-8-65127** … 活動資金として広く活用する寄付口座

口座名：(特非) さなぎ達

⇒他金融機関からの振込口座番号 … 預金種目/口座番号：当座 0065127 ・店名(店番)：〇二九(ゼロニキュウ)店(029)

2. **食堂専用口座 00200-1-116876** … 食堂で使用する食材購入のご寄付専用口座

口座名：さなぎの食堂

⇒他金融機関からの振込口座番号 … 預金種目/口座番号：当座 0116876 ・店名(店番)：〇二九(ゼロニキュウ)店(029)

3. **はらぺこ基金口座 00200-7-53701** … 無料食事券配布のご寄付専用口座

口座名：さなぎの食堂

⇒他金融機関からの振込口座番号 … 預金種目/口座番号：当座 0053701 ・店名(店番)：〇二九(ゼロニキュウ)店(029)

NPO 法人さなぎ達ホームページ：<http://www.sanagitachi.com/>